

家計調査報告（速報）

～平成15年平均結果～

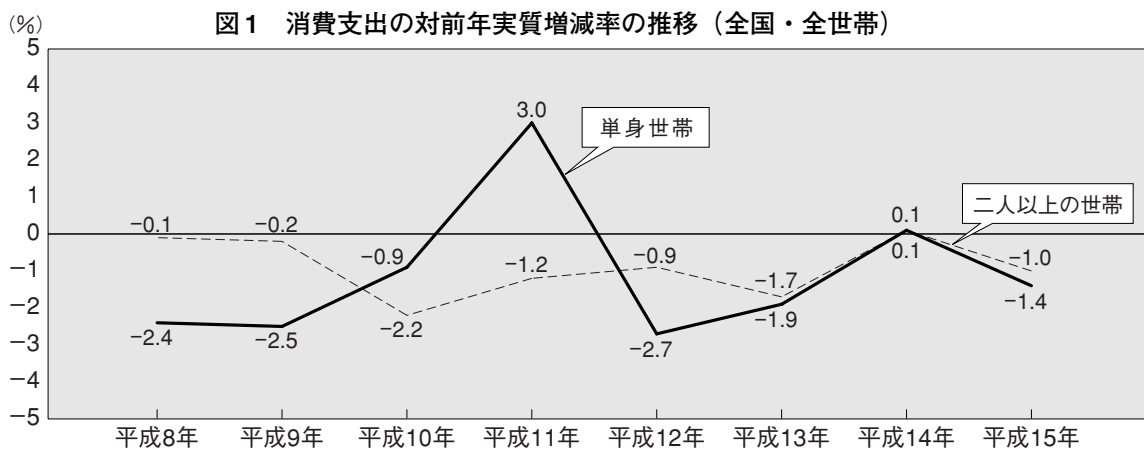
I 家計支出の概要

(1) 単身世帯の消費支出は実質1.4%の減少

平成15年の単身世帯全世帯（平均年齢 52.3歳）の1か月平均消費支出は171,786円で、前年に比べ名目で1.7%の減少、実質では消費者物価の下落（-0.3%）を反映して、1.4%の減少となった。

消費支出（実質）を主要費目別にみると、被服及び履物（-8.3%）が大幅な減少となったほか、教養娯楽（-4.5%）、食料（-4.3%）も減少となった。一方、保健医療（7.8%）、家具・家事用品（7.1%）が大幅な増加となったほか、光熱・水道（3.0%）、住居（2.3%）も増加となった。

また、単身世帯の消費支出の対前年実質増減率の推移をみると、11年に増加となった後、減少に転じ、14年には微増となったものの、15年は再び減少に転じた。なお、13年以降については、二人以上の世帯とほぼ同様の動きを示している（図1、図2、表1、表2）。



(注) 平成12年以前は、農林漁家世帯及び寮・寄宿舎に住む単身者を除いた結果による（以下同じ）。

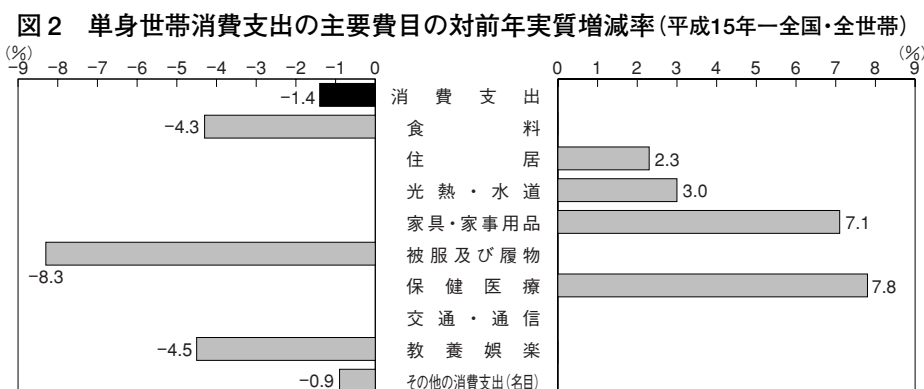


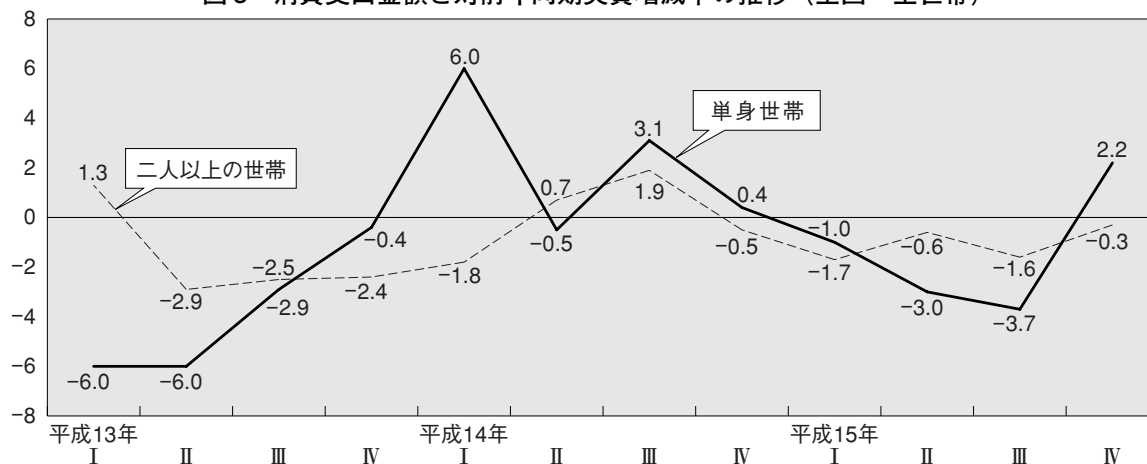
表1 消費支出金額と対前年（同期）増減率の推移（全国・全世界帯）

年次 四半期	単身世帯			二人以上の世帯	
	月平均額 (円)	名目増減率 (%)	実質増減率 (%)	名目増減率 (%)	実質増減率 (%)
平成7年	190,994	—	—	—	—
8	186,360	-2.4	-2.4	-0.1	-0.1
9	184,723	-0.9	-2.5	1.4	-0.2
10	184,266	-0.2	-0.9	-1.5	-2.2
11	189,117	2.6	3.0	-1.6	-1.2
12	181,614	-3.6	-2.7	-1.8	-0.9
13	176,523	-2.8	-1.9	-2.6	-1.7
14	174,690	-1.0	0.1	-1.0	0.1
15	171,786	-1.7	-1.4	-1.3	-1.0
平成13年					
1～3月期	166,027	-6.6	-6.0	0.7	1.3
4～6	171,017	-6.9	-6.0	-3.9	-2.9
7～9	171,309	-3.9	-2.9	-3.5	-2.5
10～12	178,408	-1.7	-0.4	-3.7	-2.4
平成14年					
1～3月期	173,068	4.2	6.0	-3.5	-1.8
4～6	168,255	-1.6	-0.5	-0.4	0.7
7～9	175,048	2.2	3.1	1.0	1.9
10～12	178,199	-0.1	0.4	-1.0	-0.5
平成15年					
1～3月期	170,739	-1.3	-1.0	-2.0	-1.7
4～6	162,824	-3.2	-3.0	-0.8	-0.6
7～9	167,972	-4.0	-3.7	-1.9	-1.6
10～12	181,461	1.8	2.2	-0.7	-0.3

(注) 四半期平均結果については、時系列の安定性を重視する観点から、地域ごとの調整係数を一定とするなど、年平均結果とは別の推定方法を採用している（推定方法については、付録P36参照）。

次に、平成15年の単身世帯の消費支出について、四半期別の対前年同期実質増減率の推移をみると、I期（1～3月期）は1.0%の実質減少、II期（4～6月期）は3.0%の実質減少、III期（7～9月期）は3.7%の実質減少となったものの、IV期（10～12月期）については2.2%増と、14年IV期以来、4期ぶりの実質増加となった（図3、表1）。

図3 消費支出金額と対前年同期実質増減率の推移（全国・全世界帯）



■調査から

表2 単身世帯消費支出の費目別支出金額と対前年増加率（全国・全世帯）

項目	平成14年		平成15年		
	月平均額 (円)	月平均額 (円)	名目増加率 (%)	実質増加率 (%)	実質寄与度 (%)
年持	51.7	52.3	-	-	-
消費	41.5	44.6	-	-	-
支出	174,690	171,786	-1.7	-1.4	-1.4
食料	40,623	38,806	-4.5	-4.3	-1.00
穀類	2,376	2,502	5.3	3.8	0.05
魚介類	2,268	2,317	2.2	4.2	0.05
肉類	1,192	1,331	11.7	10.8	0.07
乳卵類	1,273	1,323	3.9	4.9	0.04
野菜・海藻類	2,922	3,041	4.1	2.0	0.03
果物	1,275	1,251	-1.9	-2.4	-0.02
油脂・調味料	922	1,015	10.1	12.7	0.07
菓子類	1,736	1,851	6.6	6.9	0.07
調理食料品	5,208	5,204	-0.1	0.5	0.02
飲料	2,733	2,621	-4.1	-1.5	-0.02
酒類	1,916	1,710	-10.8	-10.1	-0.11
外食	16,404	14,333	-12.6	-12.5	-1.18
賄い	398	307	-22.9	-	-
住居	24,114	24,524	1.7	2.3	0.32
家設	20,390	20,849	2.3	2.6	0.30
備修繕・維持	3,725	3,674	-1.4	-0.5	-0.01
光熱・水道	9,290	9,523	2.5	3.0	0.16
電気	4,158	4,316	3.8	6.0	0.14
ガス	2,920	3,029	3.7	3.7	0.06
その他	476	441	-7.4	-11.9	-0.03
水道	1,737	1,736	-0.1	-0.7	-0.01
家具・家事用品	4,231	4,398	3.9	7.1	0.17
家庭用耐用品	1,264	1,160	-8.2	-0.6	0.00
室内装飾	520	959	84.4	90.9	0.27
寝具	323	189	-41.5	-40.1	-0.07
家事雑貨	986	859	-12.9	-11.7	-0.07
家事用品	753	801	6.4	5.7	0.02
家事用品	385	430	11.7	11.4	0.03
被服及び履物	8,522	7,672	-10.0	-8.3	-0.40
和服	221	297	34.4	37.4	0.05
洋装	3,646	3,391	-7.0	-4.5	-0.09
シャツ・セーター	1,579	1,583	0.3	3.4	0.03
下着	729	480	-34.2	-34.1	-0.14
生地	180	90	-50.0	-48.7	-0.05
他履物	595	479	-19.5	-19.7	-0.07
被服関連	993	802	-19.2	-18.5	-0.11
被服	580	550	-5.2	-5.0	-0.02
保健医療	5,022	5,601	11.5	7.8	0.23
医薬品	1,045	1,088	4.1	4.7	0.03
健康保持用品	709	767	8.2	-	-
健康医療用品	888	895	0.8	3.6	0.02
健康医療	2,381	2,850	19.7	11.1	0.15
交通	22,038	22,066	0.1	0.0	0.00
自動車等関係	6,804	6,475	-4.8	-5.0	-0.20
交通	8,678	9,158	5.5	5.5	0.27
交通	6,557	6,432	-1.9	-1.8	-0.07
教育	66	113	-	-	-
教育	22,886	21,530	-5.9	-4.5	-0.59
養育用品	2,745	2,379	-13.3	0.6	0.01
養育用品	3,856	3,765	-2.4	-0.4	-0.01
書籍	3,772	3,438	-8.9	-9.1	-0.20
養育用品	12,513	11,949	-4.5	-4.5	-0.32
その他の消費支出	37,899	37,553	-0.9	-	-
諸使途	11,949	12,598	5.4	-	-
交際	25	26	4.0	-	-
使途	20,710	19,632	-5.2	-4.9	-0.58
仕送り	5,215	5,297	1.6	-	-

(2) 費目別にみた単身世帯の消費の特徴

平成15年の単身世帯全世帯の1か月平均消費支出（171,786円）を費目別にみると、次のような特徴がみられる（表2）。

- ア 食料は 38,806円で、名目4.5%、実質4.3%の減少となった。品目別に実質増減率をみると、油脂・調味料、肉類、菓子類が大幅な増加、乳卵類、魚介類、穀類、野菜・海藻、調理食品も増加となったものの、外食、酒類が大幅な減少、果物、飲料も減少となったため、全体として減少となった。
- イ 住居は 24,524円で、名目1.7%、実質2.3%の増加となった。品目別に実質増減率をみると、設備修繕・維持が減少となったものの、家賃地代が増加となったため、全体として増加となった。
- ウ 光熱・水道は 9,523円で、名目2.5%、実質3.0%の増加となった。品目別に実質増減率をみると、他の光熱が大幅な減少、上下水道料も減少となったものの、電気代が大幅な増加、ガス代も増加となったため、全体として増加となった。
- エ 家具・家事用品は 4,398円で、名目3.9%、実質7.1%の増加となった。品目別に実質増減率をみると、寝具類、家事雑貨が大幅な減少、家庭用耐久財も減少となったものの、室内装備・装飾品、家事サービス、家事用消耗品が大幅な増加となったため、全体として大幅な増加となった。
- オ 被服及び履物は 7,672円で、名目10.0%、実質8.3%の減少となった。品目別に実質増減率をみると、和服が大幅な増加、シャツ・セーター類も増加となったものの、生地・糸類、下着類、他の被服、履物類、被服関連サービスが大幅な減少、洋服も減少となったため、全体として大幅な減少となった。
- カ 保健医療は 5,601円で、名目11.5%、実質7.8%の増加となった。品目別に実質増減率をみると、保健医療サービスが大幅な増加となったほか、医薬品、保健医療用品・器具も増加となった。
- キ 交通・通信は 22,066円で、名目0.1%の増加、実質は同水準となった。品目別に実質増減率をみると、交通が大幅な減少となったほか、通信も減少となったものの、自動車等関係費が大幅な増加となったため、全体として同水準となった。
- ク 教養娯楽は 21,530円で、名目5.9%、実質4.5%の減少となった。品目別に実質増減率をみると、教養娯楽用耐久財が実質増加となったものの、書籍・他の印刷物が大幅な減少、教養娯楽サービス、教養娯楽用品も減少となったため、全体として減少となった。
- ケ その他の消費支出は 37,553円で、名目0.9%の減少となった。品目別に実質増減率をみると、諸雑費、仕送り金などが増加となったものの、交際費が減少となったため、全体として減少となった。

(3) 単身世帯の消費支出は二人以上の世帯の57%

平成15年の単身世帯（平均年齢52.3歳）の1か月平均消費支出（171,786円）について、二人以上の世帯（世帯主の平均年齢54.0歳）と比較してみると、1世帯当たり（二人以上の世帯 301,841円）では57%、世帯人員1人当たり（同 93,739円）では1.83倍となっている。

また、消費支出に占める費目別割合をみると、二人以上の世帯に比べて支出割合が高い費目は、住居、教養娯楽、交通・通信となっている。特に、住居のうち家賃地代については、二人以上の世帯の3.3倍となっている。

一方、二人以上の世帯に比べて支出割合が低い費目は、教育、その他の消費支出、光熱・水道、家具・家事用品、保健医療、食料、被服及び履物となっている。ただし、食料のうち的外食については、二人以上の世帯の2.2倍と逆に高くなっている

（図4、表3）。

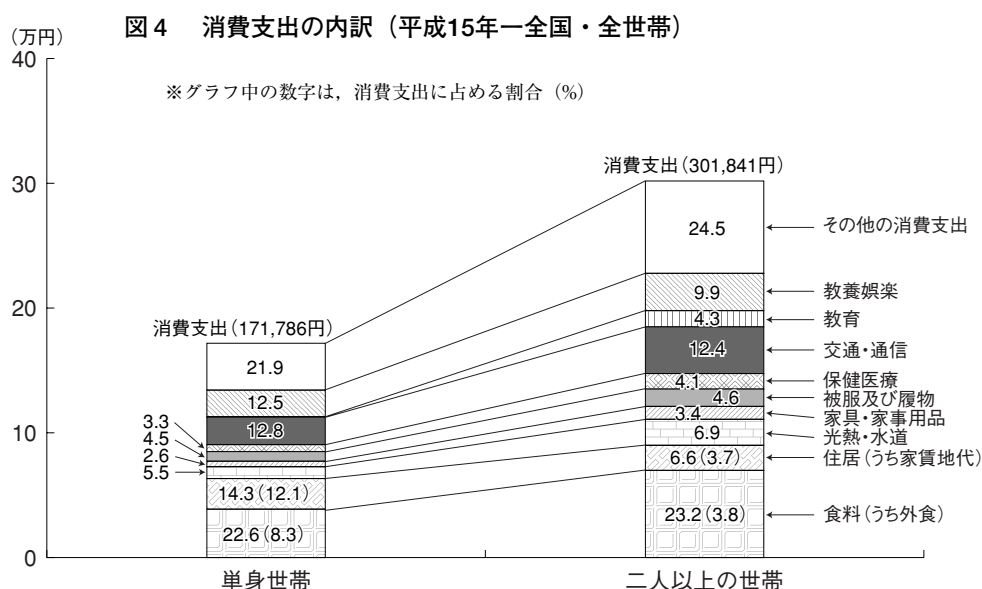


表3 消費支出の費目別支出金額と構成比（平成15年一全国・全世帯）

項目	月平均額 (円)		構成比 (%)		比率 (倍)
	単身世帯	二人以上の世帯	単身世帯	二人以上の世帯	
世帯人員 (人)	1.00	3.22	-	-	-
世帯主の年齢 (歳)	52.3	54.0	-	-	-
持家率 (%)	44.6	77.1	-	-	-
消費支出	171,786	301,841	100.0	100.0	0.57
食料	38,806	69,910	22.6	23.2	0.58
外食	14,333	11,567	8.3	3.8	1.24
住居	24,524	20,027	14.3	6.6	1.22
家賃地代	20,849	11,100	12.1	3.7	1.88
光熱・水道	9,529	20,922	5.5	6.9	0.46
家具・家事用品	4,394	10,329	2.6	3.4	0.43
被服及び履物	7,672	13,868	4.5	4.6	0.55
保健医療	5,601	12,441	3.3	4.1	0.45
交通・通信	22,066	37,417	12.8	12.4	0.59
教育	113	13,006	0.1	4.3	0.01
教養娯楽	21,530	29,915	12.5	9.9	0.72
その他の消費支出	37,553	74,002	21.9	24.5	0.51